

月刊 きょうと教育通信

Vol.36 平成18年4月号 発行:京都市教育委員会総務課(Tel222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

平成18年度教育予算

～聖域のない見直しで財源を捻出！～

市民ぐるみで進める京都市の教育改革を強力に推進！

教育改革推進を図る18年度予算

「京都市財政健全化プラン」策定後2年目となる平成18年度京都市当初予算は、将来にわたる京都の発展を着実に推進するための取組に、財源が重点配分されました。

教育委員会では、事務事業の聖域のない見直しに取り組む一方、確かな学力向上や保護者・地域に参画いただく「開かれた学校づくり」などを一層進めるための取組に重点的に予算を配分しました。また、小学校の全普通教室冷房化にPFI手法を導入し、当初予定より3年早い18年8月に完了させるなど、経費節減を図りつつ全市的な学習環境を充実させるために創意工夫を重ね、実質、前年度比プラスの予算（事業規模）を確保しました。

【18年度 主な新規事業】

教員養成支援の充実

- ◎「京都教師塾」創設（400万円）＜指定都市初＞
～京都市ならではの教員を養成
- ◎塔南高「教育学科（仮称）」開設準備（100万円）
～全国初の教員養成専門学科の企画推進

学力向上

- ◎「京の学び」創設・課外学習総合推進事業（7,000万円）
～確かな学力と豊かな人間性を育む課外活動推進
- ◎歴史都市・京都から学ぶジュニア日本文化検定（ジュニア京都検定）（1,300万円）＜全国初＞
～日本文化を継承・発展させる子どもたちを育む
- ◎スチューデントシティ・ファイナンスパーク推進事業（2,373万円）
～同一施設での開設は米国以外で世界初

総合養護学校の充実

- ◎総合養護学校スクールバス更新（7,200万円）
～特別仕様車で安定した通学を確保

心身ともに健全でたくましい子どもの育成

- ◎不登校総合対策事業～一人一人が輝く～（480万円）
～支援マニュアル・実践事例集の作成等

高校教育改革

- ◎「音楽高校ルネサンス」推進事業（3億7,900万円）
～PFI方式による整備を推進、総事業費約40億円

生涯学習の充実

- ◎京都国際マンガミュージアム（仮称）開設（1億200万円）
～マンガ・アニメの日本初の総合拠点

PFI手法による小学校全普通教室冷房化により 実質的な教育予算は4.5%増！

教育費は、名目上、1.6%減少していますが、「小学校全普通教室冷房化」へのPFI手法の導入に伴う経費節減・負担の平準化などによるものであり、実質的な教育予算（事業規模）は4.5%の増です。

（単位：千円）

項 目		18年度	17年度	増△減	前年比
教 育 費		52,521,000	53,367,000	△846,000	△1.6%
内 訳	学校等運営費	16,602,000	16,290,074	311,926	1.9%
	建築等施設整備費	12,491,000	13,752,926	△1,261,926	△9.2%
	人件費	23,428,000	23,324,000	104,000	0.4%

小学校普通教室冷房化	※3,268,000	—	3,268,000	皆増
実質教育予算（事業規模）計	55,789,000	53,367,000	2,422,000	4.5%

※「小学校普通教室冷房化」（156校、約2,500教室を18年8月24日までに一斉整備）

実質の整備費（従来手法で整備する場合の事業規模）5,004,000千円と、PFI手法で実施する18年度予算計上額1,736,000千円との差

20回記念！大文字駅伝が開催！

～大会記念像も建立～

「駅伝のまち京都」の冬の風物詩、全国唯一のロードレース、京都市小学校「大文字駅伝」大会が、2月12日に開催。

時折粉雪が舞う寒さの中、参加51チームの選手たちが、これまでの練習の成果を発揮して力走。保護者たちで賑わう沿道は大歓声と熱気に包まれました。

レースは、3校が最後まで優勝争いを繰り広げる稀に見る大接戦の中、嵯峨野小が、向島南小を僅か4秒差で振り切り優勝。また全51チームが無事にたすきをつなぎました。

閉会式では、アテネオリンピック金メダリストの野口みずきさんが会場を訪れ、メッセージを贈るなど、選手たちには掛替えのない思い出の大会となりました。



(上) 力走する選手たち、(右) テープカットする榎本頼兼市長ら

大文字大会記念像を設置！

第20回を迎えた記念として、スタート地点である衣笠小学校に、銅像「都大路の風になれ」を設置。大会に先立つ1月29日に同小学校で披露式が、榎本頼兼市長も出席の下、実施されました。銅像のたすき渡しをする男女の姿に、「大文字駅伝」への選手・関係者の熱い思いが伝わってきます。

◇ご意見・お問合せ＝体育健康教育室（TEL 213-5473）

人づくりフォーラムが開催～初の「提言」を発表！～

2月25日、国立京都国際会館で、人づくりフォーラムが開催。薬物、エイズ、虐待、インターネット・携帯電話の弊害の緊急課題の解決に向け、参画団体や行政区の取組報告の他、久保田真由美幹事長から、「人づくり21世紀委員会からの提言」（中間まとめ）を榎本頼兼市長宛に提出。社会全体で子どものいのちを守る行動を推進することを確認しました。また、作家の家田荘子さんと河合隼雄代表による子どもを取り巻く現状についての対談で、大人の意識転換の必要性が再確認されました。今後、子どものための市民憲章づくりにつなげていきます。



全国初！教育特区サミットが開催

2月19日、全国38都道府県から約600人の参加のもと、教育分野で全国最多の特区認定を受けている京都市で初開催。門川大作教育長の講演の後、実践報告やパネルディスカッションを行い、地域に根差した教育の活性化が確認されました。



《3月の主なできごと》

- 18日 学校コミュニティプラザ事業「下鴨中ゾーン」開所。14箇所目の設置。全行政区の設置が完了。
- 22日 花背峠以北の統合校の新校名要望書提出。「花背小学校」「花背中学校」にするよう要望。
- 27日 スチューデントシティ・ファイナンスパーク運営推進委員会初開催。産業界、PTA代表、大学教授ら23人で構成。

小中学校に風力発電装置

環境教育にも活用するため、小・中学校に太陽光パネル付き小型風力装置の設置を拡大。今年度61校、来年度も約60校に設置します。

風車の回る力や太陽光を利用し、理科の実験器具や池の水循環ポンプなどが、実際動く様子を子どもたちが目にすることにより、自然エネルギーを実感し、自ら環境について学び考えるきっかけに繋がることが期待されます。

